

10月のみごろの花・生きもの

【二十四節気 秋分 - 寒露 - 霜降】

草花



ワレモコウ (吾亦紅)
バラ科/小さな花が集まった花穂は秋の風情



シロヨメナ (白嫁菜)
キク科/ヨメナではなくノコンギクの仲間



ミゾソバ (溝蕎麦)
タデ科/別名ウシノヒタイ、湿地に群生



タコノアシ (蛸の足)
タコノアシ科/赤い実は蛸の足や吸盤そっくり



ヤマハッカ (山薄荷)
シソ科/山に咲く薄荷の意だが香りはない



セトウチホトトギス (瀬戸内杜鵑草)
ユリ科/鳥のホトトギスの胸羽模様に見立てた

樹木



コバノガマズミ (小葉莢蒾)
スイカズラ科/白い花、赤い実とも美しい林縁木



クサギ (臭木)
シソ科/赤い萼に瑠璃色の実は空色染料にガク



ツリバナ (吊花)
ニシキギ科/長い花柄にぶらさがる実は風に揺れ

動物



アサギマダラ (浅葱斑)
タテハチョウ科/秋、南へと長距離を飛行する渡りの蝶



ツマグロヒョウモン (棲黒豹紋)
タテハチョウ科/温暖化で分布を北に広げている



ヒメアカネ (姫茜)
トンボ科/陽だまりの湿地に止まったカップル



ニホンアカガエル (日本赤蛙)
アカガエル科/草むらや湿地、明るい林にすむ



ムギマキ (麦蒔)
ヒタキ科/麦を蒔く姿を見せる旅鳥



カヤネズミ (菅鼠)
ネズミ科/ススキなどに営巣する日本最小のネズミ